

平成29年1月17日

各都道府県ミニバスケットボール連盟会長様
全国理事様

日本ミニバスケットボール連盟
会 長 佐々木 民義
理 事 長 坂本 昌彦

第49回以降の全国ミニバスケットボール大会について（通知）

平素より日本ミニバスケットボール連盟の活動に対しご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、平成9年度第28回大会から実施してきた大会方式について、平成29年度第49回大会から以下の通り変更することとしました。

1 競技方法の変更

男女各4ブロック優勝制から、優勝チームを決めない交歓大会とする。

2 1チームを構成する児童在籍小学校数制限の撤廃

5校以上で編成されたチームでも大会出場を認める。

3 チーム編成について(変更なし)

「全国ミニバスケットボール大会における1チームを構成する児童在籍小学校の学校数の制限」（平成24年3月28日付け全国理事会承認）の内容における「**5. チーム編成について**」**6. 運用にあたって**」について変更するものではありません。改めて内容についての確認をお願いし理解を求めるものです。

4 添付資料

- (1) 第49回全国ミニバスケットボール大会について（経過報告）
- (2) 全国ミニバスケットボール大会出場における1チームを構成する児童在籍小学校数の制限について（平成24年3月28日付け配布）

以上、周知徹底くださいますようお願い申し上げます。

平成29年1月17日

第49回全国ミニバスケットボール大会について（経過報告）

多くの都道府県ミニ連から「全国大会の在り方アンケート」に回答をいただき、ありがとうございました。今回は、期間が短かったともあり十分な論議ができず、各都道府県でも意見をまとめるのにご苦労されたのではないかと思います。

私どもが示した方向性に対して、

- ・交歓大会にすると全国大会の魅力が薄れるのではないかと？
- ・子どもの目的意識が低下するのではないかと？
- ・競技レベルや審判のモチベーションが下がるのではないかと？

といったご心配もありましたが、

- ・交歓大会になっても全国の仲間と交流することに教育的価値がある。
- ・各チームが同じゲーム数を確保できる。
- ・ゲーム数が増えるとたくさんの子どもの経験させることができる。
- ・各都道府県で頑張ったご褒美的な大会でよいのではないかと。

と、賛同するご意見をたくさんいただきました。

また、4校枠撤廃については、チーム編成が全くフリーになってしまうと誤解された面もありましたが、概ね賛成のご意見が多数を占めました。

皆様から寄せいただいたこのようなご意見をもとに、9月・11月に行われた常任理事会で、JBA担当者も交えて慎重に審議を行い、今まで論議を重ねてきた中で明らかになっている次の3点の改善を図ることが最も肝要なことであるということを再確認しました。

- ◎勝利至上主義になることにより、様々な弊害を及ぼしていること。
- ◎大会規定にチーム編成による制限があること。
- ◎勝敗によってゲーム数に偏りが生じること。

そして、全国大会は本連盟の重要な事業であり、普及・育成という連盟の目的を達成するより良いものとするため、以下の内容で実施するという結論に達しました。

(1) 全国大会を交歓大会形式で行う。

3月の春季休業日（現在と同時期）に実施し、トーナメント方式ではなく、全チーム同じゲーム数を確保する。運営方法などを工夫し、魅力ある大会にする。

(2) チーム編成（学校数）による出場制限をしないものとする。

大会規定からチーム編成（校数）による出場制限を削除する。

- * チーム編成の基準は、「加盟規定」及び「加盟規定についての方針」によるものとし、「単一学区児童で構成されたチームを原則とする。」ということ是不変。

この変更については、全国理事を始め多くのミニバスケットボールに携わる方々と意見交換を行い成果と課題を明確にし、今後のミニバスケットボールのあり方を見定めた上で方向付けを行ったものであります。ミニバスケットボール活動における子ども達の健やかな成長を願って新たな一歩を踏み出したいと考えます。

今回の改革を進めていくことにより、新たな課題が生じ、対応する必要が出てくることも予想されますが、まずは第49回大会から新しい全国大会としてスタートを切りたいと思います。

また、アンケートで、選抜大会や開催時期、開催地などについて様々なご提案をいただきましたが、今後もJBAと連携を図り、他のカテゴリーとの兼ね合いによる大会形式及び開催時期の調整、東京以外での開催等、検討を続けて参ります。各都道府県連盟の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。